

地域社会貢献

大目標：地域社会の一員であることを自覚し、すべての人の健康と、働きがいのある地域社会の構築に貢献する。

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2023年度実績
医療福祉相談	  	<ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年度の相談総数は5,100件であり、全入院患者の約1割に対応した。うち両立支援は267件であり、治療を継続しながら働き続ける困難や、職場との具体的調整、付随する経済的課題に対応した。両立支援コーディネーターは昨年度2名増加し9名となった。 ■ 虐待予防活動として、院内職員向け研修を2回実施。院外は、川崎市より川崎市虐待防止医療ネットワーク事業の委託を受け、拠点病院として市内医療機関の虐待防止対策の向上に向け、講演会や事例検討会等を企画・開催した。
児童虐待等社会課題への取組強化	  	<ul style="list-style-type: none"> ■ 虐待防止委員会を年6回開催するとともに、「児童虐待防止推進月間」である11月に職員研修会を主催。 ■ また、川崎市児童虐待防止医療ネットワーク（KCAP）に協力し、本学にて研修会1回および医療機関向け児童虐待対応啓発プログラム（BEAMS）7回を開催。 ■ 予防のためのこどもの死亡検証（CDR）事業にむけ、市内関連機関（未来局や教育委員会）の方を交え院内勉強会を1回実施。
地域住民の更なる健康増進（筋力アップ教室）	   	<ul style="list-style-type: none"> ■ COVID-19のため休止していた教室を再開し、4-6月に春期教室、9-11月に秋期教室を開催。（感染予防のため定員を減らし、合計32人の方が参加。） ■ 3か月間の教室を修了した方が継続して参加する「マリアンナ筋力アップ・フォロー教室」も再開し、約1年ぶりに顔を合わせる喜びに満ちた教室となった。 ■ 体力測定項目にサルコペニア・フレイルの状態を知る、握力や歩行速度などを取り入れ、結果の返却時にそれらに関する資料を提供し説明することで、サルコペニア・フレイル予防の意義をより強く感じていただく機会となった。

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2023年度実績
地域住民の更なる健康増進(公開講座)	   	<p>■2023年度より、市民公開講座の企画を新しくし、中高生から高齢者までを対象としたシリーズ物企画を立ち上げた。6コンテンツをアップロードし、申し込み制によるオンデマンド配信を行なっている。新規コンテンツの公開が予定より遅れたため、3ヶ月経過した現在のところ年間PV延数は、約700件にとどまっている。</p>
医療体験「メディカルキッズ」	   	<p>■4年ぶりに対面形式で2023年8月5日(土)に実施し小学4年生から6年生の児童29名が参加し累計参加者が436名になった。</p> <p>■参加者のアンケート結果からは「貴重な体験ができてよかった」「とてもわかりやすく丁寧な説明で医療についての楽しく学ぶことができた」等の意見が寄せられた。</p> <p>■医療体験スタッフには従来の教職員に加え、医学生、看護学生、薬学部生(昭和薬科大学)に協力を依頼した。参加した学生のアンケート結果からメディカルキッズに参加したことが将来において有意義だったことが伺えた。</p> <p>■対面では初めて「聴診器づくり」「血液型を調べてみよう」のプログラムを実施。特に「聴診器づくり」は参加者の90%が「とても良い」と回答した。</p>